

北海道のパワースポット江差『姥神大神宮』

一神降りてこの姥神に宿り給う一

この北海道最古の神社でもある姥神大神宮にお参りし、神気とパワーを感じてみてください。この地に秘められた『何か』は解らないが、繁栄と発展をもたらした何かしらのエネルギーを感じるかもしれません・・・



正一位 姥神大神宮本宮



正一位 姥神大神宮

江差には、ニシン群来（クキ）をもたらした折居伝説がある。折居様と呼ばれる姥がニシンを呼び、交易船が行きかい発展してきた。この町の人々はこの姥に感謝し、海からすぐ入ったところに姥神神社を作り祀っている。折居さまは天照大神のご尊体とも言われている。370年前より続く8月の姥神大神宮渡御際（10・11）日には猿田彦を先頭に鳳輦と3台の神輿、13台の山車（ヤマ）が豊年・豊漁・無病息災を祈念し、町内を清めながら巡行する。山車には必ず人形の後背に青木を立て神の依代とし、そこに神霊が降臨する。

【所在地】 〒043-0041 桧山郡江差町字姥神町 99 番地

“初詣 参拝は旅庭群来より徒歩 10 分”

折居社



折居社
 創立年不詳、住古は津花
 浜手姥大神宮古社地に
 鎮座と云々、安永(一七三三)
 年以前、現在地に遷座。
 江差発展の基となつた
 鰯漁法を伝授した折居姥
 (於隣)の神霊を祀る社
 である。

折居社

創立年不詳、住古は津花浜手姥大神宮古社地に鎮座していたが、安永2（1773）年以前、現在地に遷座。江差発展の基となつた鰯漁法を伝授した折居姥（於隣）の神霊を祀る社である。

天満宮



天満宮
 安政三(一八五二)年、菅原道真公を御祭神
 として創設。
 元文元(一七三六)年、五代藤枝兵部政重、
 私塾見学舎(国学)創設。
 安政三(一八五二)年、江差に国学運動興る。
 文庫設立。
 慶応三(一八六七)年、国学4大人(荷田春満、
 加茂真淵、本居宣長、平田篤胤)
 を祀る。
 明治六(一八七三)年、類焼して全焼が元で
 廢校、創設以来の修得者一〇〇〇
 余名、廢校後も、明治期中、
 月次会を催す。

天満宮

安政3（1856）年、菅原道真公を御祭神として創設。
 元文元（1736）年、五代藤枝兵部政重、私塾見学舎（国学）創設。
 安政3（1836）年、江差に国学運動興る。文庫設立。
 慶応3（1867）年国学4大人（荷田春満、加茂真淵、本居宣長、平田篤胤）を祀る。
 明治6（1873）年類焼して全焼が元で廢校、創設以来の修得者1,000余名、廢校後も、明治期中、月次会を催す。

海神社 風神社 金刀比羅神社



海神社 風神社 金刀比羅神社
 海神社 風神社
 近年風災打続…猶又当年二至り強風吹き募り 人家諸般数多及大破重々難渋心配仕候 然処此度船手無難市中安全漁業円満のため
 吹塵り、人家諸般数多及大破重々難渋
 心配仕候、然処此度船手無難市中安全
 漁業円満のため…慶応二(一八六六)年…
 龍神社ト称来候所 明治元(一八六七)年御沙汰二候 海神社ト致替仕候
 龍神社ト称来候所 明治元(一八六七)年御沙汰二候 海神社ト致替仕候
 全覚院大祈
 明治四末(一八七一年三月十四日)正覚院より引継二付 海神社エ合殿仕候
 本寺より引継二付海神社(合殿社)候、神仏
 合祀(改築)候。

海神社 風神社

近年風災打続…猶又当年二至り強風吹き募り 人家諸般数多及大破重々難渋心配仕候 然処此度船手無難市中安全漁業円満のため
 … 慶応二寅（1866）年… 龍神社ト称来候所 明治元（1867）年御沙汰二候 海神社ト致替仕候

金刀比羅神社

明治四末（1871）年三月十四日 正覚院より引継二付 海神社エ合殿仕候

樹齡400年のマサキ



江差『旅庭群来』

〒043-0041 檜山郡江差町字姥神町 1 番地

TEL:0139-52-2020 FAX:0139-52-6060

E-mail:hiyama@bz03.plala.or.jp <http://www.esashi-kuki.jp>